

● 草の根パートナー型

平成21年度第一次補正予算による草の根技術協力事業 緊急経済危機対応-包括型採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	ホンジュラス共和国
2. 事業名	エルパライス県母子保健向上支援事業フェーズ2
3. 事業の背景と必要性	<p>ホンジュラスでは、乳幼児と妊産婦死亡の低減に向けて、RAMNIという母子保健政策を2008年に打ち出し、母子保健の向上に力を入れている。事業対象地域であるエルパライス県は、母子保健の指標も低水準であり、同保健政策の重点地域6県の一つに位置づけられている。フェーズ1では、保健医療スタッフの能力向上、伝統的助産婦（TBA）、保健ボランティアの育成、コミュニティ薬局の設置などを通じて、主にサービスの強化における成果をあげることができた。一方で、住民への保健教育や保健サービス利用の促進など、コミュニティにおける活動が課題として残った。これらの課題に対応することで、包括的な母子保健向上が可能となる。</p> <p>RAMNI : Reduccion Acelerada de la Mortaridad de Materna y de la Niñez TBA : Traditional Birth Attendant</p>
4. 事業の目的	対象地域における母子の健康が向上する
5. 対象地域	エルパライス県ダンリ市、トロヘス市、エルパライス市の母子保健センター3箇所、保健所2箇所の管轄地域
6. 受益者層	<p>直接：乳幼児・生殖期の女性8,000人、 保健ボランティア・TBAら500人 間接：対象地域の乳幼児・生殖期の女性40,000人、住民13万人</p>
7. 活動及び期待される成果	<p>【成果1】 コミュニティにおける母子保健活動が促進される (活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1-1 コミュニティの母子保健に関するベースラインを確定する</li> <li>1-2 ベースライン調査に基づき研修内容を策定する</li> <li>1-3 母子保健委員会を組織化する</li> <li>1-4 母子保健委員会メンバーに対する研修を行う</li> <li>1-5 母子保健委員会の活動をサポートする</li> <li>1-6 保健基金を設置する</li> <li>1-7 活動状況のモニタリング・評価を行う</li> </ul> <p>【成果2】 FCM（コミュニティ薬局）設置村においてFCMが機能し、管理委員会による自立的な運営が可能となる。 (活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2-1 FCM設置に関する住民会を開催する</li> <li>2-2 FCM研修を実施する</li> <li>2-3 医薬品等を供与する</li> <li>2-4 関係者の協力を得てFCM運営委員会の組織化を支援する</li> <li>2-5 FCM運営委員会の活動をフォローアップする</li> </ul> <p>【成果3】 母子保健センター（CMI）の利用が促進される (活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3-1 母子保健センターの利用についてベースライン調査を行う</li> <li>3-2 調査結果をもとに母子保健センター利用増加のためのプロモーション活動を計画する</li> <li>3-3 計画に沿ってプロモーション活動を実施する</li> <li>3-4 母子保健センター利用状況のモニタリングを行う</li> </ul> <p>FCM : Fondo Communal de Medicamentos CMI : Clinica Materno Infantil</p>
8. 実施期間	2010年1月～2012年3月（2年3ヵ月）
9. 事業費	50,000千円（予定）
10. 事業の実施体制	AMDA社会開発機構とAMDAホンジュラス事務所が、エルパライス県保健地域事務所、母子保健センター、保健所と協力して事業を実施する。
II. 実施団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人AMDA社会開発機構
2. 活動内容	アジア、アフリカ、中南米における貧困削減、健康増進を中心とした社会開発事業。